

日本弁理士会「弁理士業務 AI 利活用ガイドライン」

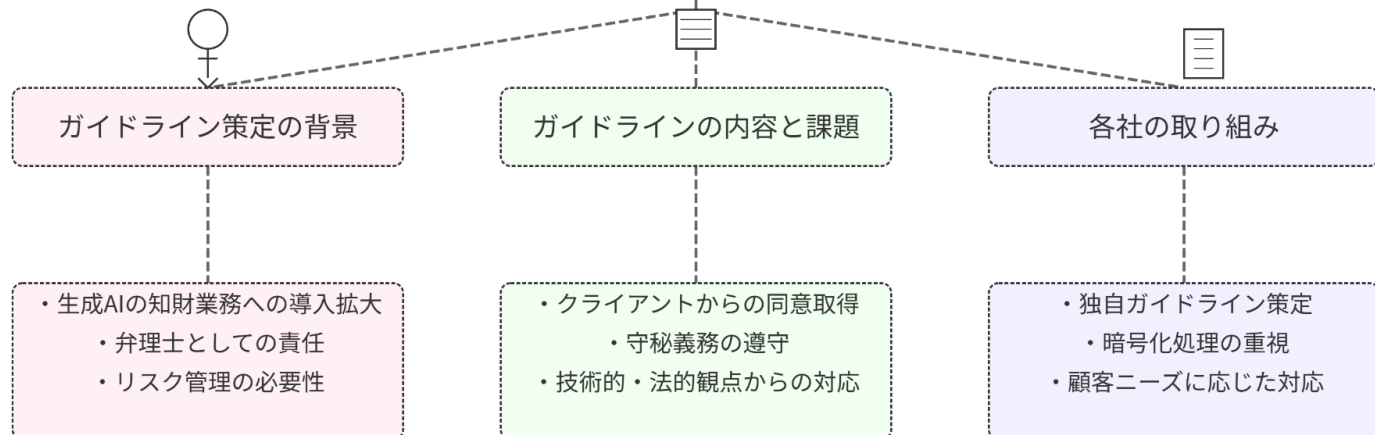
Felo AI Deep Search

日本弁理士会「弁理士業務 AI 利活用ガイドライン」

現在はβ版として公開



主な概要



主な概要

日本弁理士会が策定した「弁理士業務 AI 利活用ガイドライン」は、弁理士が AI ツールを業務に活用する際のリスク管理、守秘義務の遵守、クライアントの同意取得など、技術的・法的観点からの適切な運用方法を示すための指針です。現在はβ版として公開され、各弁理士法人でもこれに基づいた独自のガイドラインが策定されています。

詳細なレポート

日本弁理士会が策定した「弁理士業務 AI 利活用ガイドライン」は、弁理士が AI ツールを業務に活用する際の適切な運用方法を示す指針です[8]。このガイドラインは、技術的・法的観点からのリスク管理、守秘義務の遵守、クライアントの同意取得などを目的としています。現在は β 版として公開されており、各弁理士法人でもこのガイドラインに準拠した独自のガイドラインが策定されています[2][7]。

ガイドライン策定の背景

近年、ChatGPT をはじめとする生成 AI が知財業務の現場で急速に導入されています[2]。これに伴い、弁理士会から「AI 利活用ガイドライン（β 版）」が公表され、弁理士としての責任やリスク管理のあり方が整理されました[2]。

ガイドラインの内容と課題

ガイドラインでは、生成 AI に情報を入力する際にクライアントから同意を得るべきであるとされています[2]。これは、信頼関係を前提とした弁理士業務において当然の配慮であり、実務的にも重要な指摘です[2]。しかし、高山特許商標事務所は、技術的な誤解が蔓延した状態で「同意があれば入力してよい」という形式的な記載に終始している点を指摘し、生成 AI 活用の前向きな方向性を示すビジョンが不足していると感じていると述べています[2]。

各社の取り組み

IPTech 弁理士法人は、日本弁理士会「弁理士業務 AI 利活用ガイドライン」に準拠した「IPTech 生成 AI 利活用ガイドライン（β 版）」を策定しました[7]。同社では、生成 AI ツールを利用するにあたり、暗号化処理がされており、サービス提供事業者に入力内容が解析できないこと、入力されたデータが再学習の対象とならないこと、上記がサービス提供事業者の利用規約等で明示的に保証されていること、という 3 つの要件を満たすもののみを利用しています[7]。また、顧客の意向に応じて生成 AI ツールを利用しない従来通りの方法での対応も継続しています[7]。

知的財産権に関する AI の活用とリスク

AI のビジネス導入に欠かせない AI のリスク対策「AI ガバナンス」に関して、知的財産権の観点からリスクとなり得るポイントに焦点を当てた解説がされています[6]。知的財産に関する法適用では、（1）新たに何かを作り出すこと（創作行為等）と、作り出されたもの（創作物等）の保護と、（2）新たに作り出されたものの活用（実施、使用、利用等）の 2 つの側面があります[6]。

今後の展望

弁理士が AI を業務に活用するにあたっては、技術的な理解を深め、リスクを正確に評価した上で、クライアントに適切な説明と助言を行うことが重要です[2]。日本弁理士会が作成したガイドラインを参考に、各弁理士法人がそれぞれの業務内容や顧客のニーズに合わせたガイドラインを策定し、AI を適切に活用していくことが期待されます[7]。

1. [文章生成 AI 利活用 ガイドライン – 東京都デジタルサービス局](#)

2. [第 4 回 ChatGPT の利用は新規性を喪失するのか？](#)

3. [弁理士業務と AI 特許作成](#)
4. [文章生成 AI 利活用ガイドライン・活用事例集](#)
5. [弁理士による AI ツールの適切な利活用を促すためのガイドライン](#)
6. [第 8 回 AI と知的財産権の基本とリスク～恐れることはない](#)
7. [生成 AI 導入のお知らせ – IPTech 弁理士法人](#)
8. [産業構造審議会 知的財産分科会 第 20 回弁理士制度小委員会議 ...](#)
9. [日本弁理士会](#)
10. [AI 関連技術に関する特許審査事例について | 経済産業省 特許庁](#)
11. [Japan: AI becomes key focus as patent office streamlines ...](#)
12. [Patent Application and Enforcement of Patent Rights ...](#)
13. [Guidance on the Utilization of Artificial Intelligence in Patent ...](#)
14. [正副会長の活動状況](#)
15. [JAPP Organizes Issues on Copyright with Generative AI](#)
16. [AI becomes key focus as patent office streamlines prosecution ...](#)
17. [令和 6 年度弁理士会等委員選任のお知らせ – 山内特許事務所](#)
18. [Japan Patent Office](#)